

# 生涯学習におけるダンス

福島大学 鈴木裕美子

## はじめに

近年、健康意識の向上により、生涯学習センターや公民館、体育館などで運動に親しむ人口が増加している。一方、新聞や雑誌、VTRなどからの情報や健康機器の活用により、家庭でも、手軽に運動に参加できるプログラムが紹介されている。

他方、メディアの影響は大きく、視聴者は立場や興味、経験により、鑑賞型、参加型、追求型のタイプで報道を受け止めている。ダンス関係の番組は、ジャズダンス、フラダンス、フラメンコ、社交ダンス、クラシックバレエなど、メジャーな領域の講座が開かれ、関心を持っている鑑賞型から、体験に踏み切る参加型への移行が期待される。

今回、一般対象に健康作りを目的とした参加型の番組制作をとおして、生涯学習の立場からダンスに何が求められ、どのように関わっていけるかを模索した。

## 目的

ダンスが生涯学習にどのように関わっていけるか、TV番組を制作をとおして追求する。視聴者が健康を目的としたダンスを体験すると同時に、関心を舞踊文化に向けることも意識した。

## 方法

毎週、ディレクターの提案、視聴者の投書によってダンスを創作し、その反応を分析した。

期間：新規番組制作の検討；2000年3月  
報道；2000年4月～ 7分間/週

対象：幼児、高校生、大学生、一般、高齢者。特に育児に奮闘している30才代半ばの主婦

条件：(1) 踊って楽しい、(2) かつこよい、(3) 健康作りに役立つ

内容：創作ダンス (C)、ジャズダンス (J)、パラパラダンス (P)、レクダンス (R)、健康体操 (H) など。(表1)

方法：通常はスタジオで生放送。本番前に、打ち合わせ及びリハーサルを実施。月末は出張講座で、保育所、短大、大学、ダンススタジオ、体育館、特別養護老人ホームなどに出かけたVTRの録画を見ながら生放送。

視聴者の感想・要望・質問などがファックスや葉書で寄せられ、積極的に意見を取り入れた。

## 結果と考察

(1) 踊る楽しさ、(2) 動きのかつこよさ、(3) 健康面での蘊蓄を傾けることを条件として、流行と季節の話題を考慮したテーマのもとにダン

スを創作した。技能レベルは‘自分にもできそうだ’という、手頃な内容で、‘楽しい’‘体にいい’‘気持ちがいい’‘運動欲求を満たす’‘短時間で姿勢やスタイルに影響を及ぼす’など、成果が実感できるものが好評であった。毎回テロップに流すキャッチコピー (表2) は、幅広い層に親近感をもたれるように工夫され、視聴率を上げる重要な要素であった。また、音声と映像はストレートに伝わるよう、コンパクトにまとめられた。

表1 番組の日程

回	月	内容	歌・曲	出張講座
1   4	4	さくら編 (C)	♪番組テーマ ミュージック	幼稚園
5   8	5	宇多田編 (P)	宇多田ヒカル ♪ウエイト& シー ～リスケ～	大学
9   12	6	リンダ編 (J)	山本リンダ ♪狙いうち	ダンス スタジオ
13   15	7			短大
16   20	8	海外旅行編 (C)	ベット・シヨ プ・ボーイズ ♪ゴーン・ウエ スト	老人ホーム
21   23	9	スポーツの秋編 (H)	姫神 ♪杜	
24   27	10	しなやか編 (H)	姫神 ♪光の日々	保育所 (運動会)
28   31	11			体育館 (キッズエア ロビクスコン テスト会場)

表2 キャッチコピー

肩こりをほぐす/腰痛を防止する/脂肪燃焼運動/6秒間で効果をあげる/妊婦・産婦のための運動/風をひかない体力作り/指から頭をよくしよう/背が伸びる/足が伸びる/かつこよく踊る/居ながらにして海外旅行
---

## 結論

一般対象の参加型TV番組として創作したダンスが2000年4月から新番組として放映され、TV局からの要望と視聴者からの反応を分析したところ、(1) 体調の改善、(2) 体型の改善、(3) ダンスの上達、(4) 運動不足の解消、(5) 仲間や家族との交流が求められていることが明らかになった。楽しさ、手軽さ、効能、時間帯などの条件を整えば、ダンスは生涯学習のプログラムとして十分に関与が可能であるといえよう。